

木知原の今昔！

30号：6・1・12

明けまして
おめでとうございます

木知原のあゆみ

No.5



ダイヤモンドくろふじ
2024: 元日 8:37

室町時代(南北朝時代)の木知原

室町 時代は前期を**南北朝**・後期を**戦国**時代とも呼んでいる。

☐ 前期の南北朝時代は皇位の継承争いで1336年に

🏰 **南朝**(光明天皇が奈良**吉野**):**新田**・**北畠**・**楠木**一族が支持

🏰 **北朝**(後醍醐天皇が**京都**):**足利**一族が支持

の両王朝に分立してから1392年に合体するまでの56年間を言う。

📌 この間は両朝の対立の他に天皇や支持する一族の内紛が続く不安定な世の中で、各地に豪族が誕生し「**群雄割拠**」の様相が起き始めた時代でもあった。



👉 外山郷・木知原 の名称初めて見つかる！

☐ 貞永年間(1360頃)の「**美濃土岐家の系図**」に木知原の名が記されている。

- ♥ 「**外山四郎忠頼**が**外山**の郷の内に住していたが、何れの村かわからない」
- ♥ 「**外山郷**とは、**木知原**・**神海**・**佐原**・**木倉**・**河内**・**金原**・**奥**とすべて入っている」
- ※ 「**奥**」とは「**奥村**」、日当と鍋原は金原村や佐原村の枝村であったので表記されていない

🏰 **外山四郎忠頼**は土岐氏の一族で**川内村**に**大野城**を持ち近郷九ヶ村を統治していたと伝えられていた。それに基づいて調査した結果「**城は？**」で現在碑のみが立てられている。

📌 何れにしてもこの頃外山郷が土岐氏の家臣によって支配されていたことは確かであるが、れっきとした“**家臣の住処がわからない**”とあるがそのような世情であったのでしょう。

🗡️ 木知原が**最前線基地**となる！

☐ 南北朝時代、**木知原村**は守護の土岐氏が北朝方の足利氏に与していたことから当然ながら**北朝方**に属することとなった。

ところが北の**根尾郷**や西の**長瀬郷**は**南朝方**に属していたので、木知原は西美濃北部の**防ぎよ最前線**に位置することになった。

特に越前より根尾谷を南下してきた**新田義貞軍**との防衛戦は何度も繰り返されていたようである。

📌 黒津や松田以北が**越前文化圏**であったことから新田軍は越前からの南下が容易であったと思われる。

📌 長瀬とは川を挟んで**敵対関係**? 郷境争論もこの世情が大きく関わっていたのではと思うが...



エッ!! 木知原の村人(むらびと)が**農民兵**!?

☐ 南北朝時代に北朝方の前線基地となった木知原村は**絶対堅守の地**であったことから、木知原の村人が兵や後方支援への動員令が出て戦に駆り出されたことは容易に推察できる。

📌 農民兵については再掲の予定であるが、農民兵とは、豪族間での領地争い(戦)に先兵(尖兵)として使われるようになった農民を後にそう呼ぶようになった名称である。

♥ 南北朝時代以降農民が戦の犠牲になる世の中が江戸幕府開闢まで**200年以上**続いたが農民兵の駆り出しなど記録に残す値もない捨て駒であったのでしょうか。